

カリキュラム

1回生

2回生

3回生

4回生

保育・教育に関する基礎と、
児童学4領域の基礎を学ぶ。

高校までの学びと大学での学びの違いを知り、児童学を学ぶ大学生に求められる入門的・基礎的な知識や能力を身につけます。

専門科目の学修を通し、
子どもや保育を理解する。

実際に子どもと接する場面を考えた実践的な学びが本格化します。児童学の4領域について基礎的な学びを終え、その中から自身の関心事項を深め広げます。


これまでの学びを総合化し、子どもや
子どもの育ちを多面的に考える力を育てる。

高度な内容の授業が主となり、子どもについての深い知識と幅広い実践力を身につけます。特定の教員のもと少人数で学ぶゼミが始まり、個々の学生に得意な分野ができてきます。

卒業研究に取り組む。

学びの集大成である卒業研究を通して、一人ひとりの関心を追究します。感性の豊かさに磨きをかけ、子どもとそれを取り巻く事柄について、鋭く深く見通す力を養います。

学科専門科目

児童学	●児童学入門演習 I・II	●児童学基礎演習 I・II	●児童学専門演習 I・II	●児童学実践演習	●児童学研究演習 I・II	●卒業研究	
児童の発達	●▲教育心理学 I ●▲発達心理学 I	▲教育心理学 II	▲発達心理学 II ▲社会福祉 ▲障害児保育 ▲児童家庭福祉	▲△幼児と人間関係 ▲子ども家庭支援論 ▲社会的養護 I	児童発達研究法実習 I ▲保育内容演習(人間関係) ●▲発達支援演習 ▲△特別支援教育論	児童発達研究法実習 II パーソナリティ発達研究 子どもの認知発達 子育て支援 障害児支援実習 ▲社会的養護 II	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> <p>多彩な実習・演習科目</p> <p>長期にわたって見守る中で、現場での実践力を磨く。</p> <p>児童学科では、「保育実習」や「教育実習」のほかにも、専門ごとに多彩な実習・演習科目を用意。選択科目の「子ども子育て支援演習」では、長期にわたって総合的に取り組むことで、課題解決力やチームワーク力、実践力が養われます。</p>  </div>
児童の保健	生理学演習	●▲児童保健学 ▲乳児保育 I	▲△幼児と健康 ▲保育内容演習(健康) ▲乳児保育 II	▲児童栄養 ▲児童体育 I	▲児童体育 II ●児童保健学演習	生涯運動演習	
児童の文化	●▲児童文化学 △絵本論 現代文化・芸術論	●児童文化学 △絵本論 現代文化・芸術論	児童文学論 ▲△幼児と言葉	▲保育内容演習(言葉) ▲△幼児と環境 △児童文化活動論	●▲児童文化学実習 ▲保育内容演習(環境)	△人形劇演習 児童社会学	
児童の表現	●▲児童表現学 ピアノ・ベーシックA	▲△幼児と表現 ピアノ・ベーシックB	▲児童音楽 I ▲児童園工 I	▲保育内容演習(表現)	音楽あそび △児童園工 II	△児童音楽 II	
保育・教育	●▲教育原論 ●▲教職論 ●▲人権教育論	▲保育原理	▲保育内容総論 ▲保育実習指導 I ▲保育実習 I【保育所】 ▲多文化教育論	▲教育課程論 ▲保育実習 I【施設】	▲△幼児教育方法論 ▲教育行政学 △保育実習指導 II・III △保育実習 II・III ▲教育実習論 ▲教育実習	▲保育・教職実践演習(幼)	
社会教育			生涯学習概論 I	生涯学習概論 II 社会教育基礎実習 教育社会学 ジェンダーと教育	生涯学習支援論 I 社会教育経営論 I	生涯学習支援論 II 社会教育経営論 II 社会教育実習	

セミナー科目 実習・演習科目 ●卒業必修科目 ▲幼稚園教諭一種免許状、保育士取得必修科目 △幼稚園教諭一種免許状、保育士取得選択科目

※2022年度開講予定のもので、変更される場合があります